

保育の家しょうなんだより

第7号



さかなやさん来園

命の大切さ学ぶ

二月二十五日、近所のスーパー「かねまん」の中西さんが、子どもたちの目の前で魚を下ろす実演をするために、私たちの園に来てくだ

さいました。子どもたちがクッキングの材料を買い物に行くスーパーの中にある魚屋さんです。色々な魚が並んでいるので、子どもたちはいつも釘付けになって見えています。今回の開催の目的は次の二つです。
①身近な魚屋さんに来てもらい、会話することで、地域の知っている人よりも親しむこと。②自分たちの毎日食べているものが、どのような流れで、どんな人たちの働きによって届けられているのか。そんな人と人とのつながりが、自分たちの「生きる」に食べる「こと」につながっていることを知るきっかけにしたい。
わい、中西さんが持ってきてくださったのは、旬の魚の「鱈」です。鱈という魚をそのままの姿で見たのが初めての子もたちは、「うわあ、大きい!」「歯がある!」と驚いていました。中西さんが、「皆がよく食べる。ちくわ」はこの鱈の身をすりつぶしてできているんだよ。「明太子」は、違う種類の鱈の卵だよ!と見せながら伝えると、「知らなかった!」と感心する子どもたち。また、「魚は何を食べてどうやって生きてるの?」「おならはするの?」「どうして子どもからの質問



保育士 高尾佳良

にも答えて下さいました。さあ!いよいよ鱈を下します。「わあ。」となったのですが、「ここは皆が息をする所と同じ肺で、鰓と言つよ。...自分たちが胸を触って確認!これが鱈の心臓!」体の中の大切なものを守ってくれる肋骨や、体を支えてくれる背骨が、皆と同じようにあるんだね。」と話を聞きつつ子どもたちは観察。「骨の近くの身が一番おいしいんだよ!」と教わりながら、段々と真剣な眼差しへと変わっていききました。そして、下したての鱈をお鍋にして、粗を炊いてスープにして皆で食べました。「おじさんが骨の周りがおいしくて言つた!」と言いながら鍋の底が見えるほど、最後まできれいにいただきました。
自分たちと同じように生きていく命を頂いていること。食べる前に「いただきます」という意味を改めて知り感謝する「こと」。命の大切さを伝えて行く機会にもなつたと思います。

いのちの日

一月十九日『いのちの日』という行事を実施しました。「動物や植物が生きていることやいのちの大切さを知ってほしい。」という思いから始まった行事です。食・保健(からだ)など多方面から様々な取り組みを実施しました。その内容を簡単に紹介します。

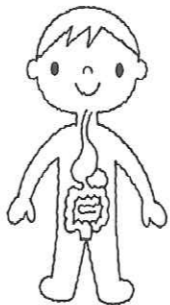
四・五歳児さんは、人型にした模造紙に、からだの各器官のパーツを貼りながら、からだのしくみを学びました。これなんやろう?こんな体に入ってるの?など関心を持ちながら楽しくからだのしくみを知ることができました。その後、聴診器を使って心臓の音を聴きました。それまでさわさわしていたお部屋が急に静かになり、真剣な表情で心臓の音を聴こうとする姿がありました。お友達の間で心臓の音が聴こえると、こ

っとした表情になり「きこえた!」と嬉しそうなお表情で保育者やお友だちと確認しあう姿も見られました。

昨年続き、二度目の『いのちの日』でしたが、子どもたちのからだに対する関心は高く、楽しみながらも一生懸命お話を聞いていました。この『いのちの日』を通して、からだには大事なものがたくさんあり、自分もお友だちも大切にしないといけないことを感じてもらえたと

思います。今後いろいろな活動を通して、子どもたちが健やかに成長できるように関わってまいります。

看護師 寺脇真紀子



びわこハイキング

いのちの日のお昼ごはんは、瀬田川でとれる食材や、滋賀で育てられた食材などを使用した、『びわこハイキング』でした。自分たちの住んでいる滋賀県でたくさんのお



が育てられていることを知り、食べ物や食材の感謝の気持ちを持つてほしいという思いからの取り組みです。

メニューは、本もろこの天ぷら、えび豆、赤こんにゃくのうま煮、ほうれん草のごま和え、ふるふき大根のにしん味噌添え、日野菜漬けなどです。びわこハイキングを楽しみにしていた子どもたち、一見子どもが喜んで食べるメニューではないように思われるかもしれませんが、どれもよく食べていました。甘辛い味付けがおいしかったようで、えび豆が思った以上に人気でした。赤こんにゃくは食べる前は「何いぢゅ」と言っていた子ども、食べてみると「おいしい!」と言っておかわりする姿も!素朴ですが豪華な料理に大満足な子どもたち。食べ終わつた後に「今日のごはんおいしかった」と調理室に言いに来てくれる子どもいました。 栄養士 桂 理恵

ひげやき

〇歳児

「さいた さいた...」と春の訪れを心待ちに歌っていた時...
「ひげはなみても、きれいだな」と聞くと得意気に自分の鼻を指差していました。

4歳児

先日、地震探知機が作動し皆で園庭に避難しました...
「シンドウさんーシンドウさんやっ!」と大慌てで伝えてくれたAちゃん。

探知機が言った通り、震度3と一生懸命伝えてくれた様です。

